新潟県言語聴覚士会　　第 63 号(2017 年 1 月)

next STage

巻頭言

新潟県言語聴覚士会　事務局総務部長　　徳間彩香（国立病院機構　新潟病院）

あけましておめでとうございます。今年から事務局総務部長を務めさせていただいております、新潟病院の徳間彩香と申します。よろしくお願い致します。

前任の先生から引き継ぎをして、もう半年がすぎました。新しいことを学ぶということは苦労もあるけれど、分かってくるととても楽しいことだと改めて感じます。

学生の頃、ある先生から『学ぶの語源は「まねぶ（学ぶ）」「まねる（真似る）」』であると教わりました。私たちは赤ちゃんの頃から大人の言葉を真似して繰り返して日本語を習得します。言葉を覚えてくると色々な疑問が沸いてくるので「なんで？なんで？」と大人を圧倒するくらい沢山のことを尋ねます。臨床家としての ST も同じように、患者さんと関わるなかで学びと質問を繰り返していきます。最新の研究や法改正など、ST を取り巻く世界は常に変化しています。諸先輩方の真似をして、質問と研鑽を繰り返すことは時間がかかるし、時には面倒かもしれません。でも学んだことが理解できると、最終的に患者さんに還元される。一つ新しい扉が開いたような、そんなワクワクも待っています。

目まぐるしい日々の中で、笑顔と初心を忘れずに、今年も新年を始めたいと思います。

目次

巻頭言　・・・1 ページ
法人化について，第３回研修会報告　・・・2 ページ
災害支援，福祉祭り参加報告，食支援多職種連携プロジェクト活動報告　・・・3 ページ
学術局からのお知らせ　・・・4 ページ
施設紹介，リレーエッセイ　・・・5 ページ
理事会議事録，編集後記　・・・6～7 ページ
企業広告　・・・8 ページ

法人化についての県士会の考え方と今後の見通し

＝　法人格取得の方向性について　＝

新潟県言語聴覚士会　会長　井口光開（南魚沼市民病院）

当県士会において、法人化の議論が始まり、３年が経とうとしています。先ずは、法人化検討委員会を立ち上げ法人格を取得することの意義、メリット、デメリットを理事会の中で話し合いました。その上で、現在の県士会事業の内容を鑑みた上で、関係諸団体や行政などとの連携を深めていくためにも、法人格取得が望ましいという結論に至りました。

理事会としては、次年度の総会において、法人格取得に関する種々の提案（予算、スケジュール等）をさせていただく予定です。現在、法人化準備委員会において、法人格取得に関する手続きや定款等の確認作業を行政書士に助言を仰ぎながら進めている状況です。なお、全国の状況ですが、47 都道府県士会において現在 16 団体（一般社団 15、公益社団 1）が既に法人格を取得されており、今後もこの流れは進んでいくものと推察されます。

＝　法人化準備委員会より、法人格取得の意義　＝

新潟県言語聴覚士会　副会長　大平芳則（新潟リハビリテーション大学）

本年度の総会でお伝えしたとおり、理事会では、新潟県言語聴覚士会の法人化について検討しています。現在、当県士会は任意団体です。任意団体ということを個人にあてはめてみると、戸籍がないことと同じなのです。その人は法的には存在さえしていないということになります。学校に入学することもできず、医療費は全額自己負担、選挙の投票権もありませんし、預金口座も作れません。社会的にはいわば幽霊のような存在といえます。私たち個人に戸籍がないという状況は、あり得ないことです。

団体に戸籍（法人格）がない場合はどうでしょうか。県や市町村から存在を認知されずに、保健医療・教育行政に関わることができません。医師会や歯科医師会からも相手にされず、活躍の場が狭められてしまいます。幸いなことに、今は職能団体として存在意義を認めていただき、地域包括ケアその他の活動に参画することができています。しかし、今後もそうである保証はありません。法人でないがゆえに、行政からの業務受託ができない、補助金を受けられない、といったことが生ずるかもしれません。そればかりでなく、まず第一に、団体としての信用に関わる問題なのです。

法人化には良いことばかりでなく、デメリットもあります。その詳細は、当県士会の HP に掲載してありますので、ぜひご覧ください。法人化の問題は、他人事でなく私たち会員全員に関わることです。皆で法人化について考えていきましょう。

第３回研修会報告

石崎裕一（長岡西病院）

第三回研修会では「摂食嚥下リハビリ最前線」「嚥下調整食分類 2013 に基づく嚥下食の実際」「VE 検査の実際」の嚥下について盛りだくさんのご講義をいただきました。兼岡先生は現在は臨床で勤務されていますが海外への留学経験もあり、世界で活躍される先生でした。講義の内容はカプサイシンの嚥下への効果やとろみ飲料の肺炎予防効果などでした。また講義の中で「最前線は近くにも遠くにも」とういう言葉がありました。これは日本にいてもインターネットや日本の学会でも最新の情報に触れる機会があるとのことで。今後海外の文献にも興味を持ち読んでいきたいと思いました。

その他の研修内容も嚥下食の試食、VE 検査の体験、症例検討など日々の臨床にすぐに活かせる内容で、非常に有意義な研修でした。

「平成 28 年熊本地震災害」義援金のお礼とご報告

災害対策委員長　堂井真理（総合リハビリテーションセンターみどり病院）

この度、新潟県言語聴覚士会では４月 14 日(木)以降に発生した熊本地震災害により被害を受けられた方々を支援するため、６月５日(日)に開催した「第４回新潟県言語聴覚士会学術大会」にての募金箱の設置、平成 28 年度の会費納入と併せての口座による義援金の振り込みを７月 31 日まで実施いたしました。皆様からお預かりした義援金が下記の通りとなりましたことをご報告させていただきます。

義援金の総額　￥ 96,000

皆様から寄せられた義援金は、10 月 19 日(水)に大分県士会に、10 月 20 日(木)に熊本県士会にそれぞれの県士会の口座窓口を通じ、半額の￥ 48,000 を寄付させていただきました。

各県士会より「大変ありがたい」とのお礼と「今後の義援金の活用については、理事会で検討を重ね使わせていただきたい」と報告を受けております。

皆様の温かいご支援・ご協力に感謝申し上げるとともに、被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

また災害ボランティア登録につきまして、先日ご案内をさせていただいております。この登録はボランティア活動への参加を強制するものではなく、発災時の情報収集をより正確にスムースに県士会員に行うために、迅速な対応を図るために、広く情報を共有し合うためにご活用していただくものと考えていただけますと幸いです。なお登録につきましては期限なく随時、募集しておりますのでお気軽にお問い合わせください。

福祉祭り参加報告

蓮子浩之（こんの脳神経クリニック）

９月 22 日に新潟ユニゾンプラザにて健康寿命延伸フォーラム「元気で長生き・丈夫な骨づくり」が開催されました。全体で 140 名、ＳＴブースを訪れて頂いた方は 16 名いらっしゃいました。

食支援多職種連携プロジェクト活動報告

学術局：阿志賀大和，佐藤卓也

県士会歯科医師会・県歯科衛生士会・県言語聴覚士会が合同で，新潟県医療介護総合確保基金をもとにこのプロジェクトを行っております．歯科医師会の在宅歯科医療連携室を窓口にして上越地区，十日町魚沼地区，長岡地区，燕弥彦西蒲地区，新発田地区，佐渡地区，新潟市地区の各地域ごとに歯科医師，歯科衛生士，言語聴覚士の代表を置き，多職種連携活動に取り組んでいくことが始まりました．

これまで３回の協議会が開かれ，平成 29 年１月 15 日（日）に，プロジェクト世話人と各団体の代表者があつまる第１回目の事例交換会を開催する予定です．今現在各地域で取り組まれている食支援の多職種活動との連動をとる形で進めていくところです．この活動が更に大きくなり多くの関連専門家とつながっていくことができるようすすめてまいります．

学術局からのお知らせ

学術局：阿志賀大和，佐藤卓也，本間桜

学術局では、会員の皆様の日々の臨床に生かしていただくために、いろいろな事業を行っております。学術局の主たる活動をまとめますと下記の通りとなります。

・新潟県言語聴覚士会学術大会の企画・開催・運営（第５回目はハイブ長岡を会場にH29 年５月 14 日（日）に開催予定です）
・研修会企画・開催・運営（来年度も年３回程度を予定。専門講座の開催も検討中！）
・県士会員が主動の研修会一覧の掲示（県士会ホームページをご覧ください！）
・臨床相談窓口の設置（本記事執筆時点では準備中です）

【第５回新潟県言語聴覚士会学術大会開催決定！】

開催日：平成 29 年５月 14 日（土）

会　場：ハイブ長岡

＊基調講演＊
【講師】中山 剛志 先生（日本福祉教育専門学校 言語聴覚療法学科 学科長）
　長年の臨床経験、研究から得られた知見をお話いただくとともに、職能活動や教育者の立場より将来に向け備えておかなければならない臨床力とは何かをご提言いただく予定です。

＊パネルディスカッション＊
【講師】『臨床：瀧澤郁菜先生（県立十日町病院）』
『教育：中山正先生（総合リハビリテーションセンターみどり病院）』
『研究：髙橋圭三先生（新潟リハビリテーション大学）』
『職能活動：渡辺時生先生（新潟医療福祉大学）』
『臨床・教育・研究・職能活動』の各領域について、県内の経験豊富な先生方と皆様とで討論を行う予定です。

＊一般演題、新人発表演題も募集中です！＊
*〆切は平成 29 年２月 28 日*です。あまり堅苦しく考えず、発表をしてみませんか？

施設紹介

高野峻佑（新潟聖籠病院）

新潟聖籠病院はH28 年９月にオープンしました。場所は蓮野インターを降りてすぐに位置して、病院の前には PLANT があります。当院は６階建てで、病院の中にカフェスペースを設けています。

病床数は現在 180 床となっていて、今後 240 床まで増える予定です。リハビリテーション科には、理学療法士 15 名、作業療法士 7 名、言語聴覚士 9 名の計 31 名が所属しています。ST は若いスタッフも多く、日々学ぶことも多く毎日を過ごしていることと思います。

対象疾患は、主に成人の脳血管障害、廃用症候群となっていて、入院・外来で対応していて、今後は回復期病棟や訪問リハビリを開始していく予定となっています。オープンしたばかり、上手くいっていない点も多いですが、スタッフ一同で力を合わせて地域に貢献していけたらと思います。

リレーエッセイ

遠藤直人（豊浦病院）

冬本番となり本格的に雪国新潟の季節となりました。地域によっては豪雪となり、大変な時期になるのではないでしょうか、非常に過ごしにくく、憂鬱な気分になりがちです。

しかし、雪国は悪いことばかりではないと思います。私はスノーボードが好きで、冬になると友人と雪山に向かいます。山の綺麗な雪化粧を見て、リフトに乗って、楽しく滑る、臨床の忙しさから離れ、良い気分転換ができます。

私事ですが、２年目となって職場環境も変わり、大きな山場を迎えました。ＳＴという職業を雪山に例えると、リフトの様に目的地まで一直線ではありませんし、吹雪で前が見えなくなることや、勢いの余り滑落しそうになる等、日々臨床の難しさに直面しております。

そんな困難な状況を支えてくれるのが、尊敬する先輩や同僚です。今年度多くの学会、研修を経験し、周囲の支えがいかに大切かを痛感しました。周囲と問題や疑問を共有し、共に模索していくことがこの職業の良いところだと思います。

今後も周囲の先輩、同僚と問題を共有し、大きな山場を乗り越えていきたいと思います。ＳＴを必要とする人にとって雪が解け、春が訪れる様にこれからも頑張ります！！

新潟県言語聴覚士会　理事会議事録

平成28年度第1回理事会　議事録

日　時：2016年4月9日15時30分から17時30分
会　場：ながおか市民センター2A会議室
出席者：井口・大平・堂井・井上・高橋・小林・阿志賀・蓮子・斎藤・伊藤・山田・名古屋・本間・奥倉・徳間・田村・廣瀬　　監事：鍛冶山

1.報告事項

1）共通事項

［会長報告］

3月21日3協会合同都道府県士会長会議では、3士会協働での市町村窓口設置に向けて報告された。

4月6日新潟リハビリテーション大学、新潟看護医療専門学校入学式に会長出席。

4月6日新潟県リハビリテーション専門職協議会に会長、堂井・井上副会長、斎藤理事出席。

〔今後の予定〕

5月28日日本言語聴覚士協会総会（東京）に会長出席予定。

6月1日新潟県リハビリテーション専門職協議会（新潟市）に会長、堂井、井上副会長、高橋事務局長、斎藤理事出席予定。

6月4日柴本先生との懇親会（三条）を開催予定。

6月5日学術大会及び県士会総会開催予定。

6月9日平成28年度都道府県士会長会議（京都）に会長出席予定。

［その他］

フレイル会議報告では、運動・栄養・疾病予防が重要であり、県士会も協力することが確認された。

3月15日在宅医療における多職種協働推進委員会に堂井、井上出席。

2)学術局

学術大会の準備進捗状況について報告された。ITサポート養成講座研修会開催について報告された。

3)広報部

Next　STage　60号3月に発送。学術集会終了後、新人歓迎会開催。リーフレット作成進捗状況について報告された。

4)公益事業部

＜訪問リハビリ＞

平成28年5月20日・21日第7回訪問リハ・地域リーダー会議（東京）に齋藤理事・廣瀬理事参加予定。

＜新潟県リハビリテーション推進連絡会＞

3/12・13第4回訪問リハビリテーション実務者研修会実施について報告された。

5）調査部　特になし。

6）事務局　　＊会員動向　　平成 28 年４月４日現在
[入会]
近藤愛美（介護老人保健施設杏園）丸山　航輝（発達クリニックぱすてる）
[異動]
高橋　卓（十日町病院⇒新潟県立中央病院）酒井　春奈（新潟県立中央病院⇒県立リウマチセンター）梅田貴（村上総合病院⇒厚生連　豊栄病院）渡辺ゆかり（亀田第一病院⇒自宅）本間崇彦（介護老人保健施設相川愛広苑⇒新潟リハビリテーション病院）渡辺聖子（(⇒北村聖子に変更）新潟リハビリテーション病院⇒豊浦病院）
[退会]
福島弘数（介護老人保健施設みさと苑）石川千穂（かもしか病院）安藤泰子（新潟市民病院）石山祥子（ソフィア輝）中澤理恵（新潟リハビリテーション病院）花野友希（総合リハビリテーションセンターみどり病院）

正会員 333、準会員４、賛助会員９、学生会員３の計 349

４月９日平成 28 年度第１回事務局会議開催（長岡市）され、規約における附則の追加について報告された。

7）財務部
収入　143,377 円　　支出　616,480 円　　残高　687,110 円　　未納分会費 535,000 円

8）総務部
総会準備の進捗状況について報告された。

編集後記

伊藤：　新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いします。
会員の皆様に県士会のホットな情報をお届けできるよう、頑張ります！！

松田：寒さに負けないよう、体力づくりと規則正しい生活を心掛けたいです。

岩橋：雪が積もるのは嫌ですが、子供と雪遊びするのは少し楽しみにしています。

櫻井：寒い時期になりました。村上は毎日吹雪です。皆様ご自愛下さい。

唾液のチカラで健康と笑顔を
お口をやさしくケア ペプチサル・シリーズ
Pepti-Sal
Pepti-sal（ペプチサル）とは。
「Peptide（ペプチド）」＋
「Saliva（唾液）」の造語。
唾液のチカラに着目して開発された
低刺激性のオーラルケア製品です。
デリケートなお口をやさしくケアし、
お口の環境を健康に保ちます。
要介護の方のケアにもおすすめです。
2014年12月発売
T&K ティーアンドケー株式会社 www.comfort-tk.co.jp 0120-555-350
〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町1-5-7 TEL：03-5640-0233 FAX：03-5640-0232

体に安心 KISSEI
食品の種類や温度に関係なく
安定したとろみがつけられます
とろみ調整食品
スルーキング
溶けやすい
風味を変えない
安定したとろみ
3gスティック×20包入
300g入（専用さじ付き）／700g入／2kg入
キッセイ薬品工業株式会社 ヘルスケア事業部
〒399-0711 長野県塩尻市片丘8837番地6 TEL0263-54-5010 FAX0263-54-5022
インターネット http://healthcare.kissei.co.jp/

リオン医用検査機器取扱店
より豊かな
コミュニケーションライフを…
オージオメータ AA-74
安心サービスを…
リオネット補聴器 新潟県内 店舗
東中通・新津店・三条店・佐渡金井店
他6店舗
オージオメータによる
使い方Q&A
A4判・35頁
定価1,000円(税別)
補聴器フィッティングのための
オージオメータ
A4判・37頁
定価1,500円(税別)
新潟県リオン総代理店
プレビアメディカル株式会社
〒950-0116 新潟市中央区東中通1-86-46
TEL 025-223-3009 FAX 025-223-3007
http://www.rionet.e-niigata.jp/

福祉・労災指定：各種車椅子・座位保持装置・ベッド
コミュニケーションエイド・福祉機器一般
介護保険レンタル・介護住宅リフォーム相談
㈱ Ｇ・Ｔ・Ｂ
（オーエックス新越）
〒956-0017 新潟県新潟市秋葉区あおば通
２丁目 28-27
TEL 0250-25-2626 FAX 0250-25-7710

指伝話®
www.yubidenwa.jp
コミュニケーション
から始まる
Tel. 0466-21-7448
Email info@yubidenwa.jp
人と人とを笑顔で結ぶ
有限会社オフィス結アジア

OKUNOS 栄養支援シリーズ
栄養低下を支援
食べやすさと栄養をプラスした
茶碗蒸しです。
1個 75ｇで エネルギー 80kcal
たんぱく質 5ｇ摂れます。
かつお風味と
ほたて風味の2種類を
ご用意しております。
ホリカフーズ株式会社
新潟営業所 〒949-7411 新潟県魚沼市大石 59-1
TEL 025-794-5536 FAX 025-794-4404

お一人おひとりの
お客様のために
食の花束を
お届けします。
食の花束
食の情報商社
タケショー
私たちは、「介護食」「療養食」を中心に
お客様に合った最適な食をお届けします。
クレスク事業部
●医療機関、福祉施設様
介護食・療養食の商品を皆様にお役立て頂けるような情報と一緒にお届け致します。
お困りのこと、お探しのものがございましたら、お気軽にお問合せ下さい。
※定期的にクレスクセミナーを開催しています。
※勉強会等のご依頼承ります。
【お問合せ先】
新潟市中央区新光町23番地
TEL：025-283-3438 FAX：025-283-3448
●在宅の方
＜店舗＞ 株式会社タケショー内
営業日：平日 10:00～16:00
※休業：土・日曜・祝日
TEL：025-281-9039

口腔機能測定機器
健口くん
KENKOU-KUN
Produced by TAKEI
「健口くん」なら口腔機能の
測定が簡単にできます。
オーラルディアドコキネシス
反復唾液嚥下テスト（RSST）
の測定が簡単に行える測定器です。
【オーラルディアドコキネシス測定例】
人間の可能性を科学する
竹井機器工業株式会社
新潟支店/〒956-0113 新潟市秋葉区矢代田619
TEL. 0250-38-3470 FAX. 0250-61-1211
http://www.takei-si.co.jp

医薬部外品
薬用ハミガキ
健康なお口づくりに
リフレケアH
特長
●有効成分のヒノキチオールが口臭を防ぎ、
歯周病（歯周炎、歯肉炎）を予防します。
●やさしい甘さと清涼感のある、はちみつミント風味。
●研磨剤や発泡剤を配合していません。
●口腔内のマッサージにも利用できます。
●のびのよいジェルは、ブラッシングも容易です。
効果・効能
口臭の防止、歯周炎、歯肉炎の予防。
むし歯を防ぐ。口中を浄化する。口中を爽快にする。
成分
有効成分：ヒノキチオール、グリチルリチン酸ジカリウム
湿潤剤：ヒアルロン酸ナトリウム(2)、濃グリセリン、プロピレングリコール
甘味剤：キシリトール
溶剤：精製水、エタノール
可溶化剤：ポリオキシエチレン硬化ヒマシ油
粘結剤：ポリアクリル酸ナトリウム、カラギーナン
保存剤：安息香酸ナトリウム
安定剤：エデト酸二ナトリウム
pH調整剤：リン酸水素二ナトリウム、クエン酸
香味剤：香料(ハニーフレーバータイプ)、L-メントール
内容量 70g
発売元 イーエヌ大塚製薬株式会社
岩手県花巻市二枚橋第4地割3-5
お問い合せ先
0120-11-4327（受付時間：9時～17時／土・日・祝祭日・弊社休日を除く）
販売提携先 ピーンスタック・スノー株式会社 札幌市東区苗穂町6-1-1
製造販売元 日本ゼトック株式会社 東京都千代田区九段南2-3-26
(09.06作成)

新潟県言語聴覚士会事務局 ：
新潟リハビリテーション大学医療学部
リハビリテーション学科言語聴覚学専攻 高橋圭三
Tel0254-56-8292 Fax 0254-56-8291

発行責任者：老人保健施設 やすらぎ園 伊藤 綾子
〒940-1111 長岡市町田町 555 番地
Tel 0258（33）5551 Fax 0258（32）5777